

CLTの推進に向けた取り組みへの支援

政策提言先 農林水産省、林野庁、国土交通省

政策提言の要旨

我が国の林業・木材産業における最大の課題は、成熟化が高まる森林資源に対して、減少傾向にある木材需要を拡大していくことです。こうした中で、欧州で開発されたCLT工法の建築物は、諸外国で利用が拡大していますが、我が国では、国の研究機関などが、CLTに関する研究などに取り組みを始めています。CLT工法は、大規模な建築物などで大量の木材が使用されるため、大きな需要が喚起される可能性があり、林業・木材産業の振興につながると考えています。このため、国において、CLT工法による建築の推進を我が国の資源を活かした産業成長戦略の1つとして、対策を強力に取り組むように提言します。

【政策提言の具体的内容】

豊富な森林資源を活かした国の産業成長戦略の1つとして、CLT工法による建築の推進に向けて、次の事項を盛り込んだ対策を講ずることを提言します。

- 1 CLTに関する関連法令等の整備
- 2 CLT工法によるモデル木造施設整備への支援
- 3 CLTに関する技術研究の推進

【政策提言の理由】

我が国の林業・木材産業において最大の課題は、森林資源が成熟化し、原木の生産能力が高まる一方、人口や住宅着工戸数の減少などにより、減少傾向にある木材需要を拡大することが必要となっています。こうした中、CLT工法は、欧州などにおいて、RC工法と比べ施工がシンプルで建築期間が短い、重量が軽量で強度が高いなどのメリットがあり、大規模な建築物をはじめ様々な建築物にその利用が拡大しています。また、その建築物には大量の木材が使用されるなど、木材需要の拡大が期待でき、林業・木材産業の振興に貢献すると考えています。

今後、我が国でCLT工法の建築物を普及していくには、まず、国として、CLTパネルに関する規格や強度基準の整備が必要と考えています。併せて、先導的なモデルとなるCLT建築物の整備をはじめ、研究機関や民間部門が行う実践的な技術研究などの取り組みを強力に支援し、その成果などを積み重ねることで、CLT建築物の普及に向けた関係法令などの整備がより進むと考えています。

こうした取り組みを行うことにより、CLT工法による建築物の推進につなげ、資源の少ない我が国の中で、持続的な利用が期待できる森林資源を活用した産業成長戦略の1つとして、取り組むように提言します。

【高知県担当課室】 林業振興・環境部 林業環境政策課、木材産業課